



福島支部会報

日本山岳会福島支部

NO 5 July . 15 . 2015
 発行 公益社団法人 (平成 27 年)
 日本山岳会福島支部
 支部長 小林 正彦
 事務局 〒960-8133 福島市桜木町 13-43
 渡部 展雄 宅気付
 電話(FAX) : 024-533-0541

「第2回岩登り講習会」の開催

5月23日(土)午前9時から本宮市の黒山ゲレンデにおいて「第2回岩登り講習会」を開催。講師陣はトレイルロックの菅野富寿氏、支部から小柳、塚原両氏が当たり、一般参加7、支部会員11(うち団体会員吾妻山の会所属4)の合計18名がクライミング技術の基礎を習得した。講習会開始早々、当該土地所有者が現地を訪れ、「いつでも使っているの、大いに宣伝して」と激励を受ける一幕も。



参加者からは①来年も実施して欲しい。②周辺設備の整っている聖岩(白河市)で行ってはどうか。との要望も出され、臆月晴れのなか事故なく終了することが出来た。



吾妻山植生復元作業

6月20日(土)午前8時半から吾妻山姥ヶ原湿原地帯の植生復元作業を実施。本事業は、吾妻山自然倶楽部が平成17年度から取組み、JAC支部もこれを公益事業として支援し今回11名が参加した。最初に旧吾妻スキー場で「ヒメスゲ」の種子を採取、姥ヶ原の荒廃地に播種する地道な活動を10年間取組んできたものでかなりの復元効果が現れてきた。



姥ヶ原植生復元作業の風景

この活動は本年度を以て完了することになったが、吾妻山自然倶楽部はこの活動が認められ、平成27年度の日本山岳遺産基金(豊かな自然・文化を次世代に継承していくために設立された基金)に認定された。

支部創立70周年記念事業の骨組み決まる

5月17日(日)二本松市勤労者研修センターで「支部創立70周年記念事業第1回実行委員会」を開催した。平成27年度支部総会決定を受け、70周年記念事業をより具体化するため、3つの委員会が次のような方針を協議・確認した。

【記念誌編集委員会】～逸見征勝

- ① 記念誌の構成は約160ページ。
- ② 掲載記事は50周年記念誌に倣い、支部長巻頭言、目次、支部員随想、特別寄稿、支部年表、会員名簿とし、

- ③ 随所に写真、イラスト等挿入する。
- ④ 特別寄稿を「支部創立期」、「追悼」、「山の鐘の現状」等とし、個別に原稿を依頼する。
- ⑤ 編集委員は、支部会員と連絡を密にし原稿を締切日までに集約する。



70周年記念事業実行委員会

【記念登山委員会】～清野義美

平成28年に福島県を代表する「飯豊山」の縦走登山をメインに県内各方部の山を踏破する。

【記念資料発掘委員会】～伊藤義男

大谷前支部長ほか活動歴の長い会員と連携し資料発掘に務める。

以上を記念事業の骨組みとして取り組みます。

事務局からのお知らせ

● 「8.11 山の日広報」を三本槍岳で実施

平成28年からの「山の日」制定に伴い、今年度は那須・三本槍岳で実施します。これは下郷、西郷、那須の3町村教育委員会が昨年より中学生を対象に取組んできた登山と交流(故事学習体験・90名参加)の活動を福島支部がサポートする形で参加し、あわせて山の日広報を行うものです。

近々中に募集要項をお知らせします。

○実施日時～8月11日(火)8:00～16:00(前泊予定)

○実施場所～国立那須甲子青少年自然の家ほか

多くの会員のご参加をお待ちします。

● 安達太良・箕輪コースの整備完了

7月3日(金)午後8時半、支部会員11名が新野地温泉・相模屋駐車場に集合し、鬼面山～箕輪山登山コースの刈払いを完了しました。特に清野義美、渡辺敏雄両会員が担ぎ上げた下刈り機が大活躍しました。詳細は次号で紹介します。

● 夏山写真の紹介

事務局が入手した花の写真の皆様を紹介します。6月24日の田代山湿原ワタスゲです。山岳ガイド(菅家俊史)曰く「50年に一度の当たり年」とのことでした。

